



険悪な雰囲気の中、インタビュが始めました…

ちよっと！距離があきすぎ！もっとお互いに近づいて！なんか、仲が悪いなあ…パチリ。それじゃあ始めますね。今年度は明星園に2人新人さんが入ってきました！お名前をどうぞ！

新人さんに突撃！
インタビュ




児童養護施設 明星園
平成 29 年 7 月 11 日発行
「こんにちは」 No.111
TEL (095)878-4953
FAX (095)878-4934
E-mail info@myoujyoukai.jp
ホームページは、**明星会 明星園**
をクリック！くっく！！

岸「4月から明星園に入りました岸下です…よろしくお願ひします。」
古「あ、古瀬です…よろしくお願ひします」
「なんだか、やりにくいなあ。えーと…2人ともこの前まで学生だったんですよね？学生の時、どんなバイトをしていましたか？」
古「私は、焼き肉の食べ放題でバイトしていました」
「食べ放題？なにか理由が？」
古「だって、食べるの大好きなんです！この前なん

表紙の題字をかいてくれたのは…2歳のAちゃんです。とっても可愛く、みんなのアイドルなのですが、負けん気が強く、グループ「めいさ」を牛耳っています。日頃から「私が一番なの！」と強いオーラをだして園内を闊歩しています。

そんな彼女ですが、男性職員を少しも近寄らせてくれません。男性職員は仲良くなろうと一生懸命。さて、誰が最初に仲良くなれるかな？

か、回転寿司であの妹と何枚食べられるか勝負して、私が勝ったんですよ！」
あの妹に勝った?!…妹がどんなすごい選手か知らないですけど…。それで何皿食べたんですか？
古「50皿…」
ええ！50皿！
それはすごい！
古「あ、もちろんデザートは別ですよ♡」
さらにすごいですね！それにしても！すごい！それでは、岸下兄さんは、どんなバイトを？」
岸「僕は、バーでバイトをしてました」
岸「僕ですか？カクテルを作るのが得意そうですもんね。得意なのは何ですか？」
岸「スクリュ… いや…、掃除が得意です」
今、スクリュードライバーって言うおうとされていますんでした？」
岸「いえ、お酒を作るのと接客が苦手です…」
接客とお酒を作るのが苦手なバーテンダーですか…。
それでは、次の質問です。学生の頃はどんな部活をし



ていましたか？

岸「僕は小学生の頃から高校までバスケットをしています」



古「え？私も！私も小学生から高校までずっとバスケットでした。強い高校だったから、練習がつらくて、きつくて…」



岸「僕のところは、そこまできつくなかったなあ。僕は、バスケットだけど、実は学生の頃、メジャーデビューを夢見て、ギター片手に一生懸命に歌っていました」

古「それはすごい！何か一曲披露してもらっていいですか？」



岸「ええ、いいですよ。それでは」

古「おお！素敵！ありがとうございます。拍子していましたけど、仲

良くなりました？

古「いえ、別に…」



岸「いえ、別の質問です。この職業は、子どものお仕事にならないといけない仕事だと思うのですが、嫌いな食べ物ってありますか？」

岸、古「(同時に) グリーンピース！」

岸「あれ？姉さんも？僕は、あの球体から飛び出すところが」



古「わかる！それと、あの食感！」

岸「うんうん。わかる」

古「そうよね♪…気が合っね」

岸「本当、気が合うね。ところで、バスケット…」

古「さっきまで仲が悪かったのに何それ!? もう一回写真をパチリ。」

岸「それでは、最後の質問です。将来の夢を語ってください」



どうして？急に結束力が高まった!?

やい。

岸「僕は絵を書くのが好きなので、将来は子ども用の絵本を書きたいです」

古「おお！すごい夢ですね。」

古「瀨姉さんの将来の夢は？」

古「私は将来、児童福祉施設を立ち上げたいと思っています」



古「こちらも壮大なすごい夢ですね。」

岸「あ、僕、そこで働かせてもらっていい？」

古「はい！ぜひ！」

岸「やった！どんな感じの施設？」



古「実は、設計図があつね…」

岸「うわあすごい！ここはいいね！これ何？あ、あっちで話そうか」(退出)

あ…インタビュウは？もしもし？あ…



一部の男性職員(山兄)や一部の中高生は、全然気付かないのですが、それぞれのリビングにいつも花が飾られています。園長先生や緑子姉さんが活けてくれているのですが、かわいらしいので撮ってみました。いかがです？



いろいろ写真館

え？ねずみ？！

つい先日、園の片隅に黒い小動物が遊びに来ていました。最初は、え？ねずみ？昭和時代みたい！と思ったら…小さな小さなこもりでした。

しばらく日陰で涼んで、夕方にはパタパタと帰っていきました。かわいかったので、パチリ☆

お墓が…

S君が、この辺りではあ



まり見かけなくなつたかつむりを見つけて、喜んで遊んでいました。

でも、間違えてふんでしまつて、死んでしまつたのです。S君は、姉さんに命の大事さを聞いて、反省し泣きながら作つたのがこのお墓です。



S君、墓前でしっかりと謝っていました。

「あ！堀がない！」

ただいま園の入りをリフォーム中です。さて、どんなお庭になるのでしょうか？

目立ちたいぞ！

さて、匠はこの庭をどんな風に生まれ変わらせてくれるのでしょうか



ある日、小学校の運動会でS兄が誰よりも目立ちました。と入念な準備をしていました。(え？化粧まで!?)

かわいいチアガールの衣装で保護者リレーに参加！

負けるもんか！

それにしても、衣装がはだけすぎです！



新人の古瀬さんが、お寿司を50皿食べるまでチャンピオンだった舞姉さん！？リベンジに燃えています!?



居酒屋「しばた」 オープン!?

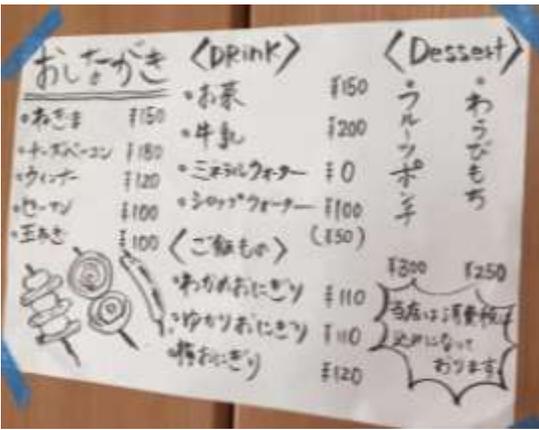


「しばた姉さん、今日の夕ごはん何?」

姉「えっと、今日は…やきとりにしようかな」

「うわーっ! やきとりって、お酒飲むところみたい!」

姉「お酒?...。じゃあ、居酒屋しばたをオープンしますか!」



ということでのこの日、女の子のユニットで、居酒屋しばたが開業する運びとなったのです。

まずは、おしながき。今日できるメニューを書いて、お客さんに注文を取ります。

「えっと...私は、ねぎまとお茶と、梅おにぎり!」

姉「はい! ねぎ、ちゃ、梅をいっちょよう! 420円ね!」

「私は、チーズベーコンとわかめおにぎり!」

姉「へい、まいど! チーズにわかめね。290円!」

と、次々に注文が殺到し、大盛況。後に仮想のおあいそをする...

「私は、千五百円食べた!」

「私なんか3千円も食べた!」

とか、初めての大人の雰囲気



「姉さん、居酒屋しばたは、次いつするの?」

姉「え? なんで?」

「山兄と一ノ瀬兄と島岡兄と俊祐兄が行きたいって。」

姉「え!?!」

「あと、七海姉さんと舞姉さんはお酒あるかな? って言ってたよ!」

姉「う〜! あの飲んだくれどもめ〜!」

明星園が大好きな皆さんが、この写真を見たら、すぐにその変化に気付いたでしょうね。

あ! 変わった!



そうです。以前は、ロープ一本だった園の囲いが、新しく立派になったのです。これで、いつも走り回っているRくんやTくんもさらにギアを上げて走り回りそうです。 (困った...)

そうそう、園の玄関横の花壇や、築山の辺りも、この夏にリフォーム予定です。どんな風になるかな。お楽しみに!

最近、子どもたちがおりこうさん過ぎて? 今号では、おりこうじゃない職員ばかり登場する記事になってしまいました。

次号では子どもの記事がわんさか載る予定です。

なお、職員は粉骨砕身、業務に勤しんでおりますので誤解がないように...